





遐兮往古無誹諧宗匠者
 唯有連詞宗匠添削誹諧
 而已自慶長中花咲翁蒙
 誹林一道之宗匠免許以
 來海內靡然為之誹林權

興矣自是以來其源洪く
其流蕩く達此道以爲宗
匠者如潮涌如流漫連者
幽玄誹者寬濶捨其屈樂
其伸一人之心追万人而
移者時勢使_レ之然耳遂有
宗匠出連_テ而入_ル誹者混く

汰く不可_ニ辯識焉猶有東
都下點者影_ヲ其澹區く不
分明矣因_テ是_ニ遼以_ニ古書爲
力_ト中蹲_ニ踞老_一誹之前_ニ拂_ニ其
髯上之塵_ヲ追_キ任_テ其所_ニ知覺_ニ
各_レ逞_ニ我_カ持_一量_ヲ次第く_ニ猶_ニ
蜘蛛之_レ纏_レ糸_ヲ綾_ノ錦_ノ之分_カ縷_イ

以爲此書題號云介
享保壬子夏日武陽江都
神田散人崔下菴沾涼叙



綴錦卷之上



沾涼緝



○元來連歌と俳諧、別々の物にありしと云ふ今の
連歌今の俳諧混合し其差別なく建治舊式
應安新式より連歌の法より海のみよりありし
云々をとりて今の中半と後半の俗言はありて
狂連歌と云ふはさしはしと云ふことと云ふ俳諧歌の
久きことなりて狂連歌と俳諧連歌と名付るものあり
真連歌 今狂連歌 今俳諧し
○俳諧俳諧乃文字ありて俳出よさゆくの論
を記すの故品と云ふ八雲抄抄九品なりしなり

誹ハ 甫尾ノ切ハイノ音カ一 俳の字と角也
交定一々宛あり

俳ハ 説文俳戲也从人非声亦牌也

徐曰今言俳優是也漢書談笑の類俳優と

あまこ東方朔或曰今の曾呂利ありの類

と如俳優なり 優誨とあり人の秦の倡俳儒し

郭舎ハ武帝乃倡俳倡トツ、イテ共ニ
日本ニ云伽ノ者ナリし

質とひく希吉利口とつるひる希ハ俳行て

俳優俳優し又希尻利口ある者の詞のつく

るをちよひふく言原とひてつるひる

俳ありく是俳諧なり

誹ハ 説文誹謗也从言非声或省作非前量

錯傳非謗不治 ハイの音ありとつるひるの

音ありとつるひるの音と通ずると又誹謗ハ

あまの事ありとつるひるの誹謗也

とつるひるの音とつるひるの音とつるひるの音と

つるひるの音とつるひるの音とつるひるの音と

つるひるの音とつるひるの音とつるひるの音と

つるひるの音とつるひるの音とつるひるの音と

つるひるの音とつるひるの音とつるひるの音と

諧ハ 羽皆切説文諧詒也从言皆聲廣

韻和也合也調也偶也

○連歌舊式目 人皇九十九代後宇多院御宇建治三年以
強倉友谷為相卿の作 是ヲ大道と云

○同新式目 人皇九十九代後光嚴院應安五年

二条禪圓後重光園殿下書加玉ヲ是ヲ小道と云

○新式追加 人皇百三代後花園院享徳元年

一条殿下園白魚良云時の宗道に統一書加玉ヲ

○新式今案 人皇百五代後柏原院文龜元年肖相特花

勅と信々道遙院殿下宮隆云合辨一書加玉ヲ

○北野連歌出葉元祖ハ梵灯菴也未社煙宮化身云

誹諧根元の書ハ新式と大規模に作松永貞徳

御筆と編ハ其後野口立圃の多し家松に傳ル

乃毛吹幸北村法印の撰本也

○連誹乃神に天満宮と崇む事ハ北野宮老人と作

二條殿下ハ為也也ハ立水外水の書と云梵灯菴也

ト教を授けししト云ハ小聖連弁も立水の出来と

梵灯より文傳多し禪言此教業の書ハ神殿に納

連歌の神辨ハ立水外水し是天満宮法御雙眼と

ハハ此誹ハ連弁同辨を是と云ハ天満宮と崇

性古連弁の神ハ日本武尊と崇し

○應安乃頃普光園殿下より侍云ハ宗通と云

大此教書秘文口傳新在家につ今代ハ連

歌如亀鏡と云

○應永乃頃江州石山寺淨會

二條殿下普光園殿

月ハ山月をー金以信の海 良基公

山嶽うびる東も更ら梳 周阿

松一本あゝぬ 萬葉子あゝぬ 侍公

此時信公卿と宗通とある一座の好まハ 救辨 善阿 光順 信照 良阿 篤之

○慶長の頃清水金園殿淨會

九條殿下号茨山公

花子於乃を海人 新米うぬ 兼孝公

衣ハ素子ひもぬぬ 袖 貞徳

たゝとらゝ裾ぬゝ稚子鳴すゝ 玄音

此の貞徳如く宗通とある一座の好ま 宗親 宗徳 紹巴 永徳

山月を腰にさゝる扇うぬ

三條山光院殿 實澄

山月の宗親如くあると折と

池の望むをうんー

近衛殿下号龍云

宗親、とゝとと尺連と修鬼つゝ 前久公

音んととれと暮らぬぬ 宗徳

智ゝとと山月ゝうぬ 飛音ゝ 玄音

月明を侍 月ハ素人丸 貞徳

御菓子のおとを 馬九亞相

報く乃鏡なり涼ー 枇杷の枝 光廣卿

大岡朝鮮立陣ハ時 二位

かゝららのその身あうてさふく外 法印玄音

○誹諧宗匠權輿

雪月花一度に見るるうらさか

貞徳

○^京貞門七誹仙

海棠花のやまやまのふかしの花
老のまゝ茶は成りて多し乃道
大上戸のふかしのあまのけいさう子
神堀の絶、折葉の海さう子
うたゝぬらふの西のまのけいさう子
うらさかをよらうやあまの系山々
花生、乃水多なるもやうくうけ

立圃 維舟 西武 今徳 貞室 季吟 梅盛

○江戸五誹哲

何と見ても雪降し馬子物さ
れふー登て祈りぬぬ火火外
うらさかー伊達の人丸中うら
上を下へえいさうの乃道見さ
去らぬと空やゆめけのうらさか

徳元 未得 舌抄 加方 卜粮

○万治寛文頃

既寒足跡つゝ色むや雪乃道
多んさく印撰弁さあぬら
川着のー守り亭や屋敷船
意菊やあまのけいさうの酒在子

蝶子 貞宣 立斬 未琢 卜入

哥くびく印のめまの子日外
調和

登祿のまよふ葉履もあはし
同

花の月らまはらるるも
不卜

そはのまよふ
同

よみあをたうそあふの時
畷俊

又あふハハ花のまんとや
尊明

月くくゆるあふくや
友徳

庭のたうらたうと
水元

待よまゆか人のゆか
清春

ひまうくむかひに
吟市

此の栗本雪朝子不物の源平はあり

雪うまのやうへのと
一貞

雪かやむくはく
松意

花をうへくあはらるる
幽山

○元祿始ヨリ享保年中

名乃つぬ取かりぬ
湖春

停勢に清て

何のまら花くはく
芭蕉

此のまら花くはく
素堂

西凡そく煙分をま
似春

そまら後草のく
露言

いたるまら
露言

はく一玉撮を壺色乃枝折外
誰なりて舟なりしる九月毎
年可申く身出をといはれ時毎外
まの事や青ととく地芝乃 隅
花出らる子とあるとく夫婦外
竹の子や児の業とてのうしき
毎一海しき相も胸多や去八兩
炭と縁と物さへいしと人 心
色とまてあも世のふるともす外
水とぬし合をゆく物や夕涼
抽乃花のよの才一の其白外

兼豊
山夕
一品
立志
其角
嵐雪
挑翁
一蜂
無倫
沾德
介秋

小胃のくくけ如しや下とみら
家なけつとたもあまかす抗
く一田やみくらの座のくハ濁
入右乃種くくつをぬ 祀もく如
我形や一守とくのゆる井戸中
きりくは青と茶もありゆりる如
心とくの落と隙はく法あり外
川筋やまき刻くくちき一室
碓川網とてのすく乃水と舟
換ふを雪のそくつる去日外
まかり乃笠のそくく其壺外

秀和
東潮
遠水
正友
神叔
素秋
未陌
常陽
立嘯
好柳
松水

新田にたつとく〜 庭子活名如 盤谷

志〜 庭乃戸田の〜 郭云 子英

此白真別須賀川等初撰一本戸は今より〜
頃い〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを
加ふ子英〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを
おの〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを
今い〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを
志の庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを
その〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを
園〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを

喜やじ〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを

雲此雲花を〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを

袖下のあ〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを

和散方 立志

和英

浮生

新田にたつとく〜 中〜 汐下 拳白

死ぬ〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 蝶〜 子息 二葉

此白歳且〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを

庭根を〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 堤亭

〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 芥鉄

〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 秋色

〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 女 女

〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 女 女

〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 女 女

〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを 女 女

右八介又〜 庭乃子英如入せ〜 にお〜 げを

前 青娥

井谷

〇寛永頃京大坂宗匠大概

齒采々々々々浦云々々々々源の香
 本多々々々々々杯や船立舟々々々
 廿日子婿入死三七々々々々々
 七賢々々々々人花や一歳椿
 之々々々々々雪女もや自々々々
 其々々々々々々々々々々々々々々
 三々々々々々々々々々々々々々々
 松々々々々々々々々々々々々々々
 槿花一々々々々々々々々々々々々
 錦々々々々々々々々々々々々々々

安静
 一雪
 定重
 宗伴
 道篤
 正由
 元隣
 宗因
 空存
 休甫

連歌花下 新在家代

此々々々々々一口也や若々々々
 凡々々々々々々々々々々々々々々
 故々々々々々々々々々々々々々々
 内々々々々々々々々々々々々々々

日 玖
 日 春倫
 天上寺 道寸
 堺 成安

侍公 宗匠権典トス
 慶安頃普光園殿始而宗匠賜号トス

心敬 僧都 専順 智温 堪川新衛門 應永頃

在外 宗信 杉原加賀守 能阿 法師 専順 續 行助 法師

宗祇 法師 文明頃
不審存 見外存 自然存
 宗砌 種玉菴ト云 文龜二七月卒
 兼裁 文明頃
 亮惠

專碩 文明頃
 宗長 右同頃
 宗牧 永祿頃
 宗粮 慶長頃
 貞德

肖拍 牡丹花
文龜頃

慶友 温野ト粮云
長子

永仙 右同頃

半井ト粮ノ父也
 代在慶友又ト粮云

紹巴 右同
 當時宗匠祖

昌休 右同
 當時宗匠祖

誹道大五譜 他國大略

新在家侍公十代宗匠宗粮門

貞德

松永道遙軒長頭元 吟花廊 号卷咲翁

慈父松永永撞 棋州高槻城主松永霜臺孫

悲母下冷泉歿壽院御妹 元龜二生雅名勝熊

勝熊ノ声ヲカリテ道遊軒ト云説アリ

哥道ハ法印玄音ノ門弟 慶長三戌八月

近衛殿下龍山公 九條殿下玳山公ヨリ法印玄音

法橋宗粮法服紹巴等ニ仰有テ誹諧一道ノ

宗匠ヲ免許

兼應二癸巳十一月十五日卒 八十三 明心居士

有墳鳥羽實相寺

編集

和歌宝珠 二十卷

歌林撲撒 二十八卷

戴息記 御傘 紅梅子白 浚川油粕

長子 昌三 松永

儒道

羅山子長男

一切經八千紙書

春齋

御儒學 本朝通鑑書

盤齋 如藤

哥道門人

長子 昌易

春秋館

儒道

三竹 野間

一華堂

季子 永三 懷德堂

儒道

順菴 木下

長好 廣沢

誹門人

道春

林家儒宗 羅山子

隨有 滝川

三之

御儒學所

由的 守都宮

儒宗家

道春昌三兩人ヲ貞徳道而入門惺窩先生

貞門七誹仙

一流祖

立圃

野々口親重入道 号松翁

京 編集

寛文頃卒亨年七十有余

京 幸和

江崎

七人の孝 陸万葉 初月子白

編 幸和 江崎

あゝとぬ せうむ 精澄子白

和羊

其歩 河舟 みのの葉

常辰 年七

万句 乃 小所おより

室榮 竹山

忍月 乃 頑まふ心

編 短使集 以下略之

約よせ 大岑 空つふて

一流祖 維舟

松江重頼入道

京

右同頃卒行年七十四

京 重方

望月

編集

毛吹草
淳世長刀
乳母
ひよりの

大子草
懐子
大井川
時世出
濁池河
佐原中

大坂 弘永

現同 鬼貫

京 言水 池西
以下略

的傳

安原正章入道

嫡子

元次安原

三 貞室

元和頃平行年六十四

編集

玉海集
百句自注
乾重次作分

日續
氷室弓
片言
此母追若
独吟子句
五条百句

京 可頼 音地

日 貞恕 跡目

日 惠佐 藤本
大津 室次 乾
以下略

又 的傳トモ

哥道二華堂門第ナリ
山本無外衛入道

京 正在 小原

京

西武

延宝頃平行年七十三

編集

舊筑波
破金袋
法の子

くり
日續
何と系

京 正伯 嶋本

京 隨流 松月菴

以下略 編永代記

御歌学所

北村拾穂軒再昌院法印

五 季吟

本土江列北村

編集

任京松原室町
花千句
いみご
十舎集

東新王津島後
花千句
北舎集
北舎集

召出

室永二酉六月
十五卒歳八十二
有墳池ノハ夕
正慶寺

哥出

一万集集抄
物系子抄
大和物抄

八代集抄
つとく集抄
百人集抄
源氏物語抄
いせ物語抄
其介呂

京 元隣 山岳

日 可全 大村

日 則常 伊豆

湖春 父季吟同時被召出
元祿十丁也正月十日卒

御歌学所

正立 佐新玉津島

六 人之德 鶏冠井 又良徳卜出
寛文頃 中羊ノ卒

崑山集 非諧四十余年
土塵集 親炙

七 梅盛 高瀬他心子
元祿頃卒 老羊

編集 口子孫子 ありき草 古後
茂徳集 山ノ石 山下
後子集 心仙 本玉集
後子集 歌子集 早柳集

京 良保

京 友三 奥西

大坂 如貞 井口

京 今富 鶏冠井
尾州 跡目

以下略 友我

京 安重 丹海

尾州 倫員 藤村

尾州 道槃 佐木

尾州 信徳 伊東

以下略

京 一雪 旅梨柳風菴
延宝頃卒

編集 裾骨 茶抄所 雨わらふ
粉搦 只々如 少く心也
作者等 心小袖 玄相成

京 重友

尾州 和

以下略

京 安靜 萩野似空軒

右同頃

編集 鄙談集 心細布

京 俊秀

尾州 宗英

尾州 重隆

尾州 似船 富尾
尾州 若月菴

尾州 偏苗代水

貞門 馬淵宗畔末言道篇
端氏定重宮川正由
是為の川流武江より一級勝々

江都宗匠

五哲

安靜門

一 德元 齊藤帆亭

寬永頃

住馬喰町三丁目

編集

初学抄

於若州卒

目和 岸本壺瓢軒

号土齊

編 是才草

土齊減後高才和葉

取立

正徳五乙未十月十七日卒

享年八十有余

有墳筑地門跡地中

調和院道鑑士

三 未得 石田乾堂

住神田鍋丁町持

編

五心集

德友 和英 壺枕軒

類

享保三酉二月四日卒

享年八十有余

水元 万治頃

清春 昌雲軒

右月頃

編

安山集 麻呂集

長男 未琢 石田良堂

居父ノ住所

狂哥ノ達人ナリ

編 一子心草

天和二戌三月廿日卒

享年七十有余

墳父同所

隆芳院未琢居士

編 意深 菊川卜改

入門吉田意安醫道

埋木 住大傳馬丁

好柳 壺井 住京橋

現 風堂 山崎月嘯軒

住神田

現 艶士 横田壺谷軒

編集 分外集

常陽 木戸 住京橋

後成根津社職

享保甲申卒

江都宗匠

五哲

安靜門

一 德元 齊藤阮亭

實元頃
住馬喰町三丁目
町持家

編集

初学抄
於若州卒

三 未得 石田乾堂

編
任神田鍋町町持
屋鋪
五心集

調和 岸本壺瓢軒

編
是乃草
住兵服町

士齊減後高才和葉
取立

正徳五乙未十月十七日卒

享年八十有余

有墳筑地門跡地中
調和院道鑑士

德友 和英 壺枕舟

元貞 享保三酉二月四日卒
四十有余

水元 万治頃

編 濟春 昌雲軒
右月頃

編 安山集 麻呂集
千白集

長男 未琢 石田良堂

寛文九酉七月十八日卒
享年八十有余
有墳浅草誓願寺
自性院未得居士

所
達人ナリ

編
一子心々

天和二戌三月廿日卒

享年七十有余

墳父同所
隆芳院未琢居士

編 意深 菊川卜改

入門吉田意安醫道

埋木 任大傳馬丁

好柳 壺井 住京橋

現 風堂 山崎月嘯軒
住神田

現 艶士 横田壺谷軒

常陽 木戸 住京橋

後成根津社職
享保年中卒

門人
未陌 榎田氏
住中橋邊
元祿頃

不卜 岡村一柳軒
住堀江町

編 法き系
元祿四庚未四月九日卒
有平河山法恩寺墳

里風 叙氏
住芝三嶋丁

現 **和推** 堀尾敲柳堂

先師点印傳松曉林
和葉自和葉又
和推附屬

息 **和全** 堀尾
末宗匠

現 **不角** 立羽松月堂 号千翁 住八坂

編集 七十五版焼失其後 百人白三卷
同上卷 母息集
信り必

現 嫡 **不肩** 立羽安月堂
二男 編 凡集
現 **壽角** 立羽松千堂

一雪門 **一負** 服部氏
寬文頃 編貞隆記

三 **玄札** 高島氏
醫

寬永頃 住本町四丁目
編 十程千石

疎心

山夕 堀口

四 **加友** 荒木泰菴
醫

寬文頃 住兩替町
編 松之云

同頃勢州松坂子内あり
是ハ春陽軒加友云

現 **山夕** 桃井鳴蛙井
始仙水云

住久保町

現 嫡 **仙水** 桃井
末宗匠

友德

正友

勢州杉木勾當堂一弟
住芝源助橋

延宝頃談林俳諧流布之時
合躰田代松意而宗因荷播

牡丹花孫

五 卜 粮

半井法眼

御醫 始慶友下云

父半井慶友是温野卜粮下云

拜領屋鋪鉄炮洲明石町裏

寛文頃

在哥ノ各人

父子正二慶友又卜粮下云有

男

卜 仙

半井 醫

未業有于今

一 蜂

河曲田泉舍
号葛仙翁
住神田

於本土勢州山田享保十

巳九月十九日卒

于時八十五秋

言水

池西氏

又季吟門下云後住京

粮得

卜 一

山州伏見
菊岡氏

卜 入

梅原氏

寛文頃

兼豊

門田氏法橋

元保初頃

住久保町

中興一流祖

住新大橋

挑音

号芭蕉翁

本土伊賀上野士松尾藤七郎

菊岡隨性軒如幻尊而入季吟

門正保元甲申生元祿七甲戌

十月十二日於大坂卒春秋五十一

葬江州栗津義仲寺

諸国墳

有江戸深川長慶寺

有伊賀上野万福寺

有京東山双林寺

有大坂道頓堀千日寺

有美濃大垣正覺寺

有肥前長崎南京寺

有奥州高館古城跡碑

令德門

一 晶

芳賀冥靈堂
号崑山翁

元信德門 始八京都
住兩替町

令德翁ノ崑山印附屬之

在世用之此印行方不知

宝永四亥四月卒

歳六十有余

編

万水入海 一巻

丁卯集 一巻

八宗懸障

斧鉞

藤本羽仙存

享保初頃卒

住石町

友德

正友

勢州杉木勾當堂一男
住芝源助橋
延宝頃談林誹諧流布時
合躰田代松意而宗肉荷擔

牡丹花孫

五 卜 粮

半井法眼
御醫 始慶友卜云

父半井慶友是温野卜粮卜云
拜領屋鋪鉄炮洲明石町裏
寬文頃 在哥ノ各人
父子正二慶友又卜粮卜云有

男
卜 仙 半井醫
未葉有子今

一峰

河曲田泉舍
号葛仙翁
住神田

於本土勢州山田享保十
巳九月十五日卒
于時八十五秋

言水

池西氏
又季吟門卜云後住京

粮得

卜 一 山州寬
菊岡氏

卜 入 梅原氏

寬文頃

兼豐 門田氏法橋
住久保所
元祿初頃

中興一流祖

挑音

任新大橋
松尾大ノ軒釣月堂
号芭蕉翁

本土伊賀上野士松尾藤七郎
菊岡隨性軒如幻導而入季吟
門正保元甲申生元祿七甲戌
十月十二日於大坂卒春秋五十一
葬江州栗津義仲寺
諸國墳

有江戸深川長慶寺
有伊賀上野万福寺
有京東山双林寺
有大坂道頓堀千日寺
有美濃大垣正覺寺
有肥前長崎南京寺
有奥州高館古城跡碑

今德門

一品

芳賀冥靈堂
号崑山翁

元信德門 始八京都
住兩替町

今德翁ノ崑山印附屬之
在世用之此印行方不知
宝永四亥四月卒
壽六十有余

編

万水入海 一書雲山
丁卯集 一書雲山
八宗懸碑

斧鉞

藤本羽仙存
住石町
享保初頃卒

有真州素折短尺塚

編集

さるもの ねの細丸
あふ日 二十奇仙
二百款

素堂 山口今日菴

始云信章又來雪トモ云

享保二申八月十五日卒

歳七十五 住本所

有墳谷中感應寺

似春 小西氏

住本町

後成三州行傍社職

編 北之山

貞室門

蝶子 貞宜

万治頃 住鍛冶橋

編 出出子 物志子

朋友集 たらき

松茸き いくき

江戸八百款 何の友

正徳享保頃本御菊塔

同名アリ此門流ニアラス

古人ノ名ヲカリタルノミ

現 貞陸

住品川

佐保介我、徒弟

今住川越

編

二葉子

秀和 大野炭瓢舟

号相水翁

正徳四申午八月卒

現 秀堂 大野

未宗匠

吟市 秋氏

大徳院弟子

安住院尊海和尚

本土江州 屋銀塘

天和二戌於江州卒

高弟又津見吟市受續

喪徳 御直糸非点者

無倫 志村拾葉軒

号雪堂翁

本土越後 住大錫町

享保八卯二月廿九日卒

有墳會海山青松寺

尊明 服部氏 住本所

不入

重頼門 幽山 高野丁ノ軒 住本町、河岸

元祿頃藤堂任口公二仕

改竹内爲入

於勢州久居平老羊

立園門 立志 高井松樂軒

編 寛永頃 住本所、河原

編 樗木集

立宜 高井松雨軒 若羊而平

法名天實 硯壽居士
行年六十三

倫里 旦立德葉軒
住石町

來川 旦立
始古鈴

神叔 音木氏
神道 住石町
元祿頃

浮生 北藤銀塘居
迦樓羅園 住銀町
編 原謙論
水秤集 鳥語話

享保三丁酉正月甲申春
有墳小日向金剛寺
芭蕉系

其角 室井室晉齋
号晉子 住茅場町
編 彰心苑 子平之 日續
たゞ心 句見牙 露集
あまの巻 教林子 ぶつ
難波集 尾尾吟 ぶら合
三上心 拈尾卷 ぶら合

室永四丙亥二月廿九日申
有墳二本坂上行寺 法花宗
有墳深川長慶寺 門人立之

嵐雪 服部雪中菴
兼應三丁午生湯島雜名久米助ト云
天神宮釘鳥井二其名アリトソ
編 その袋 ぶら水 住濱町
室永四丙亥十月十三日辛酉秋
葬野込常驗寺 法花宗

立志 高井和階堂
始立 詠ト云 住石町

子英 岩本氏 後止忠著
住 始浅草
正徳ノ頃卒 後卒不
高林院立志日乘
宝永元甲申八月卒 數四十八
伊勢松塚加友門

起波 清水独步菴
住堺町

貞佐 来岡桑之辨
始平波ト云
編集 九品 住浅草町

秋色 女
あまの巻
其角点印附属 住小網町

堤亭 下邑氏
住住吉町
編 拈あまの巻

享保三酉二月十二日申有餘
有墳深川法禪寺

一漁 鶴海釣月堂
編 居浅草

傘車 鶴海
未宗也
編 現

有墳深川長慶寺門金之
雪中菴不白玄峯居士

その女 女 おりのこ

本土勢州山田渡會氏女十リ
依テ忌ニ法体ニ成ニ鞋風頭ト

編 菊のちり 住深川

有深川天叡念佛堂墳

挑翁 天野太白堂吳竹軒
始挑隣ト云

本土伊賀上野芭蕉翁
古朋友十リ 居神田

編 ひのちり 粟津

享保巳亥土月卒七十有余
葬并浅中新光明寺

現 挑翁 瀬尾大鎌舎

元永之和門 始杜拾ト云
住柵塘

編 雨あがり 冬の日
ひのちり 粟津

現 陽秋 瀬尾 未宗五

介我 佐保井雨亭

始普船ト云
享保三戌六月十八日歳六十七
有墳浅中本願寺

現 穀我 佐保 未宗五

拳白 草壁氏

編 縁の端ニ百歌
久祿ノ頃卒

現 潭北 常盤百花莊

本土野州那瀆

編 汐み 冬の日
及古くハ 冬の日
そのあか 民家分量記
分量夜話

現 湖十 曾 水者菴

其角門人也先師点印
秋色ヨリ 附属ス依テ
此系ニ譜ス

現 永機 曾

立志 心保和散才
始春水又立詠

編 雪の果 冬の日

享保九甲辰十二月廿日
有浅中常福寺墳

立志二代
点印ハ野州守都宮住
音山立鴨附属

現 水國 雲津鶴隣ト
始晴星ト云

今沾洲門也 住楠町
雖然立圃五代相續ノ
宗匠十キニヨツテ系ハ譜茲

東潮 和田堵中子
編 号一甫
住西河岸

元祿ノス工三平
住柄千白 冬の本

素秋 熊谷氏
住攝町

現 周竹 清水才松斎
号粥翁

先師点印附屬
住田取町

現 白峰 三田風琴子

元露言門 縮 今菴 醫
住神田

現 當國 稻川了永亭
住神田

丹水 住深川
前句判者三同名アリ

現 吏登 榎井雪中菴
始李峯 住深川

編 嵐雪点印周竹ヨリ附屬
和竹声 或同珍

現 今更 步田十存菴
始雁行 住神田

現 陰威 今村
始机山 住麴町

現 舞山 帶金
始茂店 住

元才言門 住

風虎公

内藤左京亮義泰公御夏
非点者

御集 灰のみこ 伝者のこ徳 山々川

御縮

現 露沾公

内藤下野守義英公御夏
非点者
遊園堂傍池亭

御集 有負

露沾公門

福田風琴子

露言

始調也ト云

元調和門

御表徳ノ兩字一字宛

露言沾徳二下

元祿四未四月十日卒六十有餘

言格 福田氏 醫

露言 白堂

遠水 樋口氏

住五ヶ所

露沾公門

水間合歡堂

沾德

始沾葉卜云

元露言門

任中橋

編

一字出葉集

竹花千白 月鏡

享保十二年六月廿日卒有餘

有墳平河山法恩寺本理院了德日到

現

破笠

今止点者

露沾公門

菊岡雀下菴南山將

現

布仙

菊岡晴行舍

現

元一品門

始南仙卜云

現

梅立

菊岡

編

百初書

月鏡 百花実

秘去の介

日本及中仍程記 日光名跡志 江戸藤子温故志

露沾公門

露牛 赤菰

現

始花波卜云

元湖十門

現

沾洲

貴志行翰奇

始民丁卜云

編

現

青條

貴志 未宗匠

青娥

篤田六嶋仙

住茅場町

元東潮門

享保十五酉卒

現

音峨

前田二柳菴

始又梁卜云

後泰室卜改

住茅研埜

現

沾山

内田桂坊

住淺草

現

成屋

長坂音苔礎

始仙拾卜云

耳谷

長島氏

享保十三卒

現

百洲

江川掬山甫

始尹督卜云

現

乾什

岩本千歳兒

始吳丈卜云

現

壺月

石川

現

常仙

志村孤鶴汀

紹純門

誹諧談林一流之祖

任大坂天滿

宗因

西山一幽

号西翁

又梅翁云又梅下翁氏

元連歌師

宗春

連哥

大坂

玖也

杉山

延宝羊中下武江而暫居弘談林一流

春倫

濱田

編集

其外略

そのりり而韻 友以集 独以集 びるあゝ
たるもの而教 口人作 十舎集 くらわらさる

大坂

西鶴

二万堂 井原氏

一日二万三千句独吟しヨリ二万翁ト云

元禄六酉秋卒齡五十二

編

大矢敷 とうり石谷 朋骨 枚中 石車 くらわらさる びるあゝ

松意

田代川童子談林軒

松水

杉本氏

編 虎溪集 大坂 後江北十ヤ町居 正友兩人談林風流布京因荷擔

放龜戸天神宮面廊 笠着誹諧之榮起

盤谷

志水泉宇

現

尾谷

千足梅堂

住瀬戸物町

北蓮塘

住神田

大坂

才磨

推本舊德翁

始西九

佳風

豊島有紀堂

始才尾云

前住江戶

大坂ノ門人略

住カキ町

伊勢真光寺昌英門

景俊

万治ノ頃

此末門不知

現

逸志

笠家半扇菴

住浅草

貞徳正統松永尺山門

貞山

相淵芦丸舎湖月亭

貞賀

姉子

一淵堂

編

江戸名所集

上

廿五

○古貴人 大略

日も言ぬや舟に舟を女七夕

岩城郡主

風虎子

花も言ぬや舟に舟を女七夕

又居郡主

任口子

月乃舟も言ぬや舟に舟を女七夕

明石郡主

松葉子

むさし言ぬや舟に舟を女七夕

田原郡主

風隣子

○古人古老 大略 古風

白炭や焼ぬむしーの雪の枝

忠知

長き氷を森ておかしーの雪の枝

詠笑軒

未学

水よくくおとしの洗むこいをまら

狩野氏

常信

雪の葉よりおとしの洗むこいをまら

○延宝年中大坂宗因東都に今る淡林池沼の流儀を

記す一冊と云ふ淡林の本あり極乃と云 宗因

此より極乃と号淡林十百歌の巻取しと云

いさ抑々人中足きんふさささ

雪柴

くはらとやおとしと天下の下塚

小沢氏

はらふらむしーいささからあさきさ

調和門三輪氏

鉄

世介はそめあきしゆりて歌え

○元禄年中正凡作の飯其頃より享保より大槩

信しーさのあさや我後鱈

調和門 親僧正

金獅

石乃如息心の雨をまらと云

日

和葉

中くは極舟ある一五月間

日

幽蘭

もこみお入か子いりりり菊の葉
 杉子書行のりらなる一會外
 麦を新流子居るその秋を初
 神のまのよはりりや玉柳
 蟹も今もよあしく神の河下
 勤さなれ岩持もや星乃底
 さ一ませし人のあき髪古柳
 そま切子汲物もなまきまき
 箕子下りる意にそらく海乃枕
 物言の推の寒暖る居る
 このまき一目のまきまきのまき

芭蕉門 嵐蘭
日 在色
日 枳風
日 楓子
日 仙花
日 曾良
日 岩泉
日 利牛
日 孤屋
露言門 干字
似兼門 車吟

白ぬやうくくくくく雪の人
 タノ海下大黒柳よる雲
 太信、歩死の月や浦らより
 勸学の志下りくくくく
 その通ハ汗忘りて凡好の炭
 舟の死や身後よか何の通祖神
 子ま鳴り方や菊まなる海士一
 幕況小川ま乃頂や軒く
 馬のぬき宿の目だけぬ枕把の死
 や一なにいお丸の溜乃海えぬ
 尾寺のまある海まき死凍る外

一晶門 風曝
日 虚堂
日 琴藏
日 銀葉
其角門 岩翁
日 朝叟
日 横儿
日 序今
日 古璉
日 栢十
日 氷花

まゝの夜は〜一跡で何〜

同 雷堂 百里

耳かきうまを候いなる花弁本

天守道門 白雲

兼の縁ひりゑる柳〜

不卜門 琴風

ぬき紙をさ〜やはうまや汐干花

中立志門 出紫

那も尾姑む〜やまの月

未立志門 免睡堂 立和

日にやをてい〜笑ひ〜ふはる

沾徳門 子葉

蛇は〜杜々母乃名の恨〜

同 又魚

雲水乃るもい〜人物〜

同 徳純

あ〜あ〜人〜際限〜

あ〜あ〜拾物事〜中姑毛一節

あ〜あ〜さ上の輪

前名ノ
たの

イ
110

